

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋1-10-1六川ビル4階

TEL03-3264-6881 FAX03-3264-6882

発行日：2012年3月22日

クレドを活用して良い習慣をつくる

和歌山県を中心にサーティワンアイスクリーム、タックルベリーのフランチャイジーを展開するイツ・コーポレーションという企業があります。

両方で32店舗を展開するメガ・フランチャイジーです。同社オーナーの小池則雄氏が執筆した“働かずに1億円稼ぐ考え方”という書籍があります。題名は刺激的で手に取るのを躊躇するところですが、読んでみました。

この会社は、小売店をドミナント戦略で展開しており、アルバイトも多く雇用しています。その中で、各店舗への権限委譲を推し進めることで、“働かず”事業を運営する仕組みを作り上げるものです。

そこには、現場でお客さまと対応する者が主役であり中心という考えがあります。

そして、今日ご紹介するのは、クレドです。クレドはリツカールトンが有名です

が、同社も従業員主体で作りあげました。書籍の中でも紹介されていますし、同社のホームページにも掲載されています。もし全文を読んでもよいと思われたら、ホームページにアクセスしてみてください。

このクレドの中で、気に入ったものをご紹介します。

“私たちは、得意分野で一番を目指します。どのような分野でもいいので一番になります。”

一番になると、仕事も楽しくなり、結果として個人の生活も潤います。そのためには、毎日、知識や技術が伸びるような課題をつくり、時間を見つけては勉強に取り組みます。”

“私たちは、業務のシステム化を重視します。”

繰り返し行われる作業、いやだなと思う仕事、繰り返し起こる問題はないでしょうか？そのような問題を解決す

るためのシステム化を提案し、文章にまとめるスタッフを私たちは大変評価します。また、仕事はどんどん増えますので、やらなくてもいい仕事を意識し、やらなくてもすむ方法を考えてみましょう。”

“私たちは、自分で判断できる能力をもちます。”

自分で考えないで、上司に「どうすればいいですか？」と聞くのは、新入社員のレベルです。マネージャー・店長は、「いろいろ選択肢を考えてみたが、このようにしたい。なぜならば…」という思考方法をします。”

よく、部下を指導するときに、敢えて同じことを何度も繰り返して言うことがあります。それは重要だと思うからです。それでも毎日同じ事は言えません。

それなら、重要な事をクレドにして毎日目を通すようにすることはとても有効だと思います。